



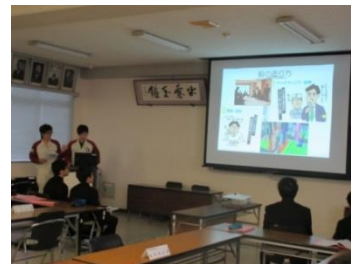
### 【卒業生とのディスカッションI】

#### 《目的》

地元で働く卒業生とのディスカッションを通じて、企業で働く方々の仕事に向き合う姿勢や、職業人としての意識を学ばせるとともに、地域産業への理解の深化を図る。

#### 《実施内容》

- 日時 平成28年12月14日(水)  
9:50~11:40
- 場所 今治工業高等学校 大会議室
- 対象 機械造船科1年生 40名
- 内容
  - ・地場産業紹介：地域の産業(船舶・機械)についての紹介
  - ・ディスカッション：主題「地域産業へのアプローチ」
  - ・指導・助言：SPH推進アドバイザーによる助言等



#### 《講師》

- 地場産業の紹介・ディスカッションの助言  
[船舶産業]浅川造船(株)、(株)新来島どつく、伯方造船(株)、矢野造船(株)  
[機械産業]真鍋造機(株)、潮冷熱(株)、今治ヤンマー(株)

#### 《地場産業の紹介》

- ・日本では、海外との貿易のうち99.7%を海上輸送が担っている。
- ・1年間に日本で造られる船、約600隻のうち、約20%を今治で建造。
- ・世界で最も多くの船用製品を製造しているのは日本であり、世界の半数以上の船で、日本の船用製品が使われている。

#### 《ディスカッションでの助言の内容》

- ・分からないことがあったら、分かるまで努力すること。
- ・どうすれば効率よく仕事ができるか、常に考えて取り組むことが大切。
- ・コミュニケーションを積極的に取るとよい。仕事が辛くて辞めようと思ったときに、コミュニケーションが十分に取れていたのが乗り越えられた。



#### 《各班の代表生徒による発表》

- ・失敗を恐れず、今からできることをチャレンジしていきたい。
- ・コミュニケーション能力は仕事で必要なので、今から高めていきたい。

#### 《生徒の感想・学んだこと》

- ・分からないことは、先輩や上司の方に積極的に聞くことが大切だ、ということが分かりました。
- ・地元で仕事をするよさが、とてもよく分かりました。
- ・卒業生の方々が、自分の仕事にやりがいを感じながら仕事をしていることが分かりました。

